

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	奈良県広域消防組合負担金事業																																				
所管課	危機管理課		(総務部)		宇陀市一般会計予算																																		
事業の目的	消防は国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災、風水害または地震等の災害を防除し、及びこれらの災害が起因の被害の軽減を任務としている。 奈良県広域消防組合は、平成26年4月に県内の各市町村が抱える課題を克服するため37市町村が構成する消防組合として設立し、組織体制の充実強化や財政基盤など様々なスケールメリットを実現し、安心安全なまちづくりの一躍を担っている。				区分 No.	区分名																																	
					款	8	消防費																																
					項	1	消防費																																
					目	1	常備消防費																																
事業	1	常備消防費																																					
根拠条例等	奈良県広域消防組合同規約第15条及び16条																																						
総合計画	基本計画 2-4-2 防災・消防体制の確立																																						
R2年度事業の概要	奈良県広域消防組合 宇陀消防署の主な事業 <input type="checkbox"/> 車両購入 高規格救急車更新 28,500千円 <input type="checkbox"/> 施設整備 宇陀署庁舎照明LED整備 2,435千円 高度救命処置シュミレーター 2,486千円 (単位 千円)				財源の内訳 (単位：千円)																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>市町村名</th> <th>比率</th> <th>当初分担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇陀市</td> <td>86.25%</td> <td>940,446</td> </tr> <tr> <td>曾爾村</td> <td>6.66%</td> <td>72,618</td> </tr> <tr> <td>御杖村</td> <td>7.09%</td> <td>77,329</td> </tr> </tbody> </table>				市町村名	比率	当初分担金	宇陀市	86.25%	940,446	曾爾村	6.66%	72,618	御杖村	7.09%	77,329	<table border="1"> <tbody> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td></td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td>24,500</td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>915,946</td></tr> <tr><td>R2予算額</td><td>940,446</td></tr> <tr><td>R元当初予算額</td><td>940,463</td></tr> <tr><td>R元現計予算額</td><td>940,463</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>▲ 17</td></tr> </tbody> </table>		分担金		使用料		国費		県費		市債	24,500	その他		一般財源	915,946	R2予算額	940,446	R元当初予算額	940,463	R元現計予算額	940,463	増減額
市町村名	比率	当初分担金																																					
宇陀市	86.25%	940,446																																					
曾爾村	6.66%	72,618																																					
御杖村	7.09%	77,329																																					
分担金																																							
使用料																																							
国費																																							
県費																																							
市債	24,500																																						
その他																																							
一般財源	915,946																																						
R2予算額	940,446																																						
R元当初予算額	940,463																																						
R元現計予算額	940,463																																						
増減額	▲ 17																																						
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	宇陀消防署に配備されている救急車は、広域化後の出勤件数及び走行距離の増加と老朽化により、更新時期を迎えていることから、救急体制の充実強化を図るため更新する。また、空気呼吸器についても老朽化に伴い新たに広域消防で統一された機器により順次更新し、火災現場での安全と迅速な消火活動を確保する。																																						
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況																																			
決算額又は決算見込額 (千円)	984,145	940,463		過疎対策事業債 24,500千円																																			
従事職員数【人工】	0.01	0.01																																					
人件費 (人工×8,000千円)	80	80																																					
総事業費：人件費含む (千円)	984,225	940,543																																					
活動指標名	市民一人当たり																																						
活動指標の算式	—																																						
活動指標の実績(見込)	30,900	単位	人	30,226	単位	人																																	
単位当たりコスト (円)	31,852		31,117																																				
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 4.災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (10)奈良県広域消防組合負担金事業																																						

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	女性消防団員活動育成事業										
所管課	危機管理課		(総務部)		宇陀市一般会計予算								
事業の目的	地域の高齢者や子どもの防火・防災意識を高めるために、宇陀市消防団女性部の活動を支援し、きめ細やかな広報・啓発活動を推進し、災害に強いまちを目指す。				区分 No.	区分名							
					款	8	消防費						
					項	1	消防費						
					目	2	非常備消防費						
事業	1	本庁非常備消防費											
根拠条例等	宇陀市消防団条例												
総合計画	基本計画 2-4-2 防災・消防体制の確立												
R2年度事業の概要	宇陀市消防団女性部が活発に広報・啓発活動を行えるよう、その活動に必要な被服等を購入する。また、女性消防団員活性化大会へ参加する。				財源の内訳 (単位：千円)								
	(単位 千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女性消防団活性化大会旅費</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>女性団員制服(新入団員用)</td> <td>153</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>257</td> </tr> </tbody> </table>				品目	予算額	女性消防団活性化大会旅費	105	女性団員制服(新入団員用)	153	合計	257	分担金
品目	予算額												
女性消防団活性化大会旅費	105												
女性団員制服(新入団員用)	153												
合計	257												
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	女性団員は団長直轄の団本部に所属。管轄は宇陀市全域を対象に、女性の視点を活かした広報・啓発活動を様々な機会を通して行い、市民の防火・防災意識を高める。 【活動内容】 ①火災予防、地域防災に関する広報、啓発活動 ②応急手当の普及活動 ③消防団や関係機関が行う主要行事への参加 ④災害時の後方支援				使用料								
					国費								
					県費								
					市債								
					その他								
					一般財源	258							
					R2予算額	258							
					R元 当初予算額	351							
R元 現計予算額	351												
増減額	▲ 93												
事業のコスト			平成30年度(実績)	令和元年度(見込)									
決算額又は決算見込額 (千円)			163	351									
従事職員数【人工】			0.05	0.05									
人件費 (人工×8,000千円)			400	400									
総事業費：人件費含む (千円)			563	751									
活動指標名			団員数										
活動指標の算式			—										
活動指標の実績(見込)			17	単位	人								
単位当たりコスト (円)			33,118	19	単位 人								
			39,526										
			特定財源の状況										
			<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 4.災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (11)消防団活動の充実・支援										
			備考										

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	消防団装備充実事業				
所管課	危機管理課		(総務部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	災害現場や風水害等の災害での活動時の安全を確保するため、消防団の装備の基準等に基づき計画的に安全装備の充実を図る。				区分 No.	区分名	
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	2	非常備消防費
事業	1	本庁非常備消防費					
根拠条例等	宇陀市消防団条例						
総合計画	基本計画 2-4-2 防災・消防体制の確立						
R2年度事業の概要	4年計画の1年目 (単位 千円)				財源の内訳 (単位：千円)		
	品目	単価(税込)	数量	合計	分担金		
	雨衣	9,350	250	2,338	使用料		
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	雨衣を配備することで、災害時の消防団員の活動性を高める。				国費		
					県費		
					市債		
					その他	2,338	
					一般財源		
					R2予算額	2,338	
					R元 当初予算額	447	
					R元 現計予算額	447	
増減額	1,891						
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額 (千円)		447		雑入(安全装備品整備等助成金) 259千円			
従事職員数【人工】		0.10		ふるさと応援基金繰入金 2,079千円			
人件費 (人工×8,000千円)		800					
総事業費：人件費含む (千円)		1,247					
活動指標名	配備数					備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 4.災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (11)消防団活動の充実・支援	
活動指標の算式	—						
活動指標の実績(見込)		単位	140	単位	個		
単位当たりコスト (円)		8,907					

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	消防団員報酬・出動手当等									
所管課	危機管理課 (総務部)		宇陀市一般会計予算									
事業の目的	消防団の充実強化を図り、地域の防災力を向上させ、安全で安心な地域づくりを推進する。		区分 No.	区分名								
			款	8	消防費							
			項	1	消防費							
			目	2	非常備消防費							
事業	1	本庁非常備消防費										
根拠条例等	宇陀市消防団条例											
総合計画	基本計画 2-4-2 防災・消防体制の確立											
R2年度事業の概要	宇陀市消防団における団員の福利厚生並びに車両やポンプ等の資機材維持保全に充てる。		財源の内訳 (単位：千円)									
	<p>(単位 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団員報酬</td> <td>27,803</td> </tr> <tr> <td>出動手当</td> <td>3,608</td> </tr> <tr> <td>ポンプ整備手当</td> <td>1,800</td> </tr> </tbody> </table>		内容	予算	団員報酬	27,803	出動手当	3,608	ポンプ整備手当	1,800	分担金	
内容	予算											
団員報酬	27,803											
出動手当	3,608											
ポンプ整備手当	1,800											
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	消防団の充実強化を図り、地域の防災力を向上させ、安全で安心な地域づくりを推進する。		使用料									
			国費									
			県費									
			市債									
			その他									
			一般財源	33,211								
			R2予算額	33,211								
			R元当初予算額	32,907								
R元現計予算額	32,907											
増減額	304											
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)									
決算額又は決算見込額 (千円)		31,966	32,307									
従事職員数【人工】		1.50	1.50									
人件費 (人工×8,000千円)		12,000	12,000									
総事業費：人件費含む (千円)		43,966	44,307									
活動指標名		団員数										
活動指標の算式		—										
活動指標の実績(見込)		970	単位	人	932	単位	人					
単位当たりコスト (円)		45,326		47,540								
				特定財源の状況								
				備考								
				<予算案重点事業> 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (11) 消防団活動の充実・支援								

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	安全・安心メール配信事業				
所管課	危機管理課		(総務部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、市からの防災・防犯情報をいち早く市民に伝達し、市民の安全・安心を確保する。また、消防団員等の緊急連絡として活用することにより、迅速な災害対応を行う。さらに、市からのお知らせやイベント情報等の配信により市民サービスの向上を目指す。				区分 No.	区分名	
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	3	災害対策費
事業	1	災害対策費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 2-4-1 災害の未然防止対策の推進						
R2年度事業の概要	[配信内容] 火災情報、気象情報、防犯・安心情報、くらしの情報、イベント情報 [登録用メールアドレス] t-uda@sg-m.jp [メール種別] ①住民用 ②学校・こども園等保護者用 ③消防団員用 ④市職員用 ・使用料及び賃借料 1,056千円				財源の内訳 (単位：千円)		
	●大規模災害時において、市の防災体制が有効に機能するよう、職員個人・組織の災害対応能力を向上させるとともに、防災関係機関との連携を強化するための訓練・研修を実施し、防災力の向上を目指す。 ●災害情報の伝達力強化と普及促進 安全・安心メールの登録促進				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料		
					国費		
				県費			
				市債			
				その他			
				一般財源	1,056		
				R2予算額	1,056		
				R元 当初予算額	1,046		
				R元 現計予算額	1,046		
				増減額	10		
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)				
決算額又は決算見込額 (千円)		778	1,046				
従事職員数【人工】		0.05	0.05				
人件費 (人工×8,000千円)		400	400				
総事業費：人件費含む (千円)		1,178	1,446				
活動指標名		登録者数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績(見込)		8,000	単位	人	8,000	単位	人
単位当たりコスト (円)		147		181			
		特定財源の状況					
		<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 4.災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (4)防災・防犯情報及び学校安全安心メール配信事業					

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	すぐメールプラス導入・配信事業				
所管課	危機管理課		(総務部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、市からの防災・防犯情報をいち早く市民に伝達し、市民の安全・安心を確保する。また、消防団員等の緊急連絡として活用することにより、迅速な災害対応を行う。				区分 No.	区分名	
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	3	災害対策費
事業	1	災害対策費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 2-4-1 災害の未然防止対策の推進						
R2年度事業の概要	高齢者世帯、障がいのある方などの要配慮者を対象に防災情報などを電話またはファックスに自動配信することで、すばやく確実な情報伝達を行う。				財源の内訳 (単位：千円)		
	事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	自力で避難することが困難な高齢者や障がい者等へ災害情報を確実に伝達することで、安心・確実に避難を行う態勢を構築する。				分担金	
使用料							
国 費							
県 費							
市 債							
その他		990					
一般財源		829					
R2予算額		1,819					
R元 当初予算額							
R元 現計予算額							
増減額	1,819						
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額 (千円)	/		ふるさと応援基金繰入金 990千円				
従事職員数【人工】							
人件費 (人工×8,000千円)							
総事業費：人件費含む (千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績(見込)		単位		単位	備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 4.災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (18)すぐメールプラス事業		
単位当たりコスト (円)							

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市ハザードマップ更新事業																																					
所管課	危機管理課 (総務部)		宇陀市一般会計予算																																					
事業の目的	平成30年度に菟田野、室生の土砂災害特別警戒区域の指定及び宇陀川の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域の見直しが行われ、令和元年度には大宇陀、榛原の土砂災害特別警戒区域の指定及び芳野川の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域の見直しが行われることから、被害の軽減や防止対策として、更新を行う。		区分 No.	区分名																																				
			款	8	消防費																																			
			項	1	消防費																																			
			目	3	災害対策費																																			
事業	1	災害対策費																																						
根拠条例等	宇陀市地域防災計画																																							
総合計画	基本計画 2-4-2 防災・消防体制の確立																																							
R2年度事業の概要	令和元年度に菟田野・室生地域のマップデータを作成しており、令和2年度で大宇陀・榛原地域のマップデータを作成する。データ作成後に従来の地域別マップから市内全域のハザード地域を掲載した冊子形式に更新し、全世帯へ配布する。 (単位：千円)		財源の内訳 (単位：千円)																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>予算額</th> <th>主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>1,694</td> <td>印刷製本費</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">委託料</td> <td>1,441</td> <td>データ更新</td> </tr> <tr> <td>669</td> <td>各戸配送業務 (12,000部)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,804</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		科目	予算額	主な内容	需用費	1,694	印刷製本費	委託料	1,441	データ更新	669	各戸配送業務 (12,000部)	合計	3,804		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>分担金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国費</td> <td>1,902</td> </tr> <tr> <td>県費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,902</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2予算額</td> <td>3,804</td> </tr> <tr> <td>R元当初予算額</td> <td>1,229</td> </tr> <tr> <td>R元現計予算額</td> <td>1,229</td> </tr> <tr> <td>増減額</td> <td>2,575</td> </tr> </tbody> </table>			分担金		使用料		国費	1,902	県費		市債		その他	1,902	一般財源		R2予算額	3,804	R元当初予算額	1,229	R元現計予算額	1,229	増減額
科目	予算額	主な内容																																						
需用費	1,694	印刷製本費																																						
委託料	1,441	データ更新																																						
	669	各戸配送業務 (12,000部)																																						
合計	3,804																																							
分担金																																								
使用料																																								
国費	1,902																																							
県費																																								
市債																																								
その他	1,902																																							
一般財源																																								
R2予算額	3,804																																							
R元当初予算額	1,229																																							
R元現計予算額	1,229																																							
増減額	2,575																																							
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	<ul style="list-style-type: none"> ●令和元年度に菟田野・室生の全世帯に配布する予定であったが、大宇陀・榛原地域の特別警戒区域の公表が早まったことにより、市内全域のハザード地域を一冊の冊子として全世帯に配布。 ●住民の防災意識の高揚を図り、水害や土砂災害等の非常時に安全かつ的確な避難行動が行えるよう啓発する。 																																							
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況																																				
決算額又は決算見込額 (千円)		388		減災対策交付金 1,902千円																																				
従事職員数【人工】		0.20		ふるさと応援基金繰入金 1,902千円																																				
人件費 (人工×8,000千円)		1,600																																						
総事業費：人件費含む (千円)		1,988																																						
活動指標名	市内世帯数																																							
活動指標の算式	—																																							
活動指標の実績(見込)		単位	13,000	単位	世帯																																			
単位当たりコスト (円)		153		備考																																				
		<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 4.災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (1)ハザードマップ更新事業																																						

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀市地域防災計画修正事業		
所管課	危機管理課 (総務部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市地域防災計画は、災害対策基本法第42条の計画に基づく法定計画であり、国、県の指針に基づき改定を行う必要がある。			区分 No.	区分名
				款	8 消防費
				項	1 消防費
				目	3 災害対策費
事業	1 災害対策費				
根拠条例等					
総合計画	基本計画 2-4-2 防災・消防体制の確立				
R2年度事業の概要	宇陀市地域防災計画の見直し (単位：千円)			財源の内訳 (単位：千円)	
	科目	予算額	主要内容	分担金	
	委託料	5,208	地域防災計画修正業務	使用料	
	合計	5,208		国費	
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	現行計画は平成28年3月に作成されており、組織名称の変更、数値データの更新等のほか、法律の改正や近年の災害対応の教訓を踏まえた対策（中央防災会議）、奈良県地域防災計画の改定等の内容との整合を図る時点修正が必要のため、本計画を修正する。			県費	
				市債	
				その他	
				一般財源	5,208
				R2予算額	5,208
				R元当初予算額	
				R元現計予算額	
増減額	5,208				
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況	
決算額又は決算見込額 (千円)	/				
従事職員数【人工】					
人件費 (人工×8,000千円)					
総事業費：人件費含む (千円)					
活動指標名					
活動指標の算式			<予算案重点事業> 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (13) 地域防災計画修正事業		
活動指標の実績(見込)	単位	単位			
単位当たりコスト (円)					
備考					

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自主防災組織設立促進・資機材購入補助事業																																			
所管課	危機管理課 (総務部)		宇陀市一般会計予算																																			
事業の目的	地域住民が災害に対する知識と備えを向上させ、地域共助機能の回復・高揚と減災を図るとともに、高齢者から子どもまで協力して安全で安心に暮らせる地域づくりの一環とする。			区分 No.	区分名																																	
				款	8 消防費																																	
				項	1 消防費																																	
				目	3 災害対策費																																	
事業	2 地域防災強化事業費																																					
根拠条例等	宇陀市地域防災計画																																					
総合計画	基本計画 2-4-1 災害の未然防止対策の推進																																					
R2年度事業の概要	自主防災組織を結成した組織について必要最小限度の資機材を備えさせるために資機材の整備について「宇陀市自主防災組織の資機材の整備に係る補助金交付要綱」に基づき一定の補助金を交付する。 交付額は、25世帯以上の団体は当該自主防災組織が資機材の購入に要した経費の2分の1の金額または、基本額50,000円と自主防災組織の世帯数×500円を合計した金額のどちらか低い額を交付する。ただし、25世帯未満の団体は基本額を25,000円とする。			財源の内訳 (単位：千円)																																		
	結成された自主防災組織に必要最小限の資機材を装備させ、組織の強化拡充を図ることで、地域の共助意識高揚の一環となるほか、減災に資する効果が期待できる。 (単位 千円) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>予算額</th> <th>主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>200</td> <td>自主防災組織育成事業補助金</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>500</td> <td>自主防災組織資機材補助金</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>700</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			科目	予算額	主な内容	負担金、補助及び交付金	200	自主防災組織育成事業補助金	負担金、補助及び交付金	500	自主防災組織資機材補助金	合計	700		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td></td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>700</td></tr> <tr><td>R2予算額</td><td>700</td></tr> <tr><td>R元 当初予算額</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>R元 現計予算額</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>▲ 300</td></tr> </table>		分担金		使用料		国費		県費		市債		その他		一般財源	700	R2予算額	700	R元 当初予算額	1,000	R元 現計予算額	1,000	増減額
科目	予算額	主な内容																																				
負担金、補助及び交付金	200	自主防災組織育成事業補助金																																				
負担金、補助及び交付金	500	自主防災組織資機材補助金																																				
合計	700																																					
分担金																																						
使用料																																						
国費																																						
県費																																						
市債																																						
その他																																						
一般財源	700																																					
R2予算額	700																																					
R元 当初予算額	1,000																																					
R元 現計予算額	1,000																																					
増減額	▲ 300																																					
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)																																						
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況																																		
決算額又は決算見込額 (千円)	192	1,000																																				
従事職員数【人工】	0.40	0.40																																				
人件費 (人工×8,000千円)	3,200	3,200																																				
総事業費：人件費含む (千円)	3,392	4,200																																				
活動指標名	補助団体数																																					
活動指標の算式	—																																					
活動指標の実績(見込)	2	単位	団体	4	単位	団体																																
単位当たりコスト (円)	1,696,000		1,050,000		備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (2) 自主防災組織設立の促進 (3) 自主防災組織資機材購入補助事業																																	

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	コミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）				
所管課	危機管理課		(総務部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	一般財団法人自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業である地域防災組織育成助成事業を活用し、地域の自主防災力向上を図る。				区分 No.	区分名	
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	3	災害対策費
事業	2	地域防災強化事業費					
根拠条例等	宇陀市コミュニティ助成事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 2-4-2 防災・消防体制の確立						
R2年度事業の概要	宝くじの収入を財源として一般財団法人自治総合センターがコミュニティ活動に助成を行うことにより、安全な地域づくり、宝くじの社会貢献広報事業を行う。 募集にあたっては、市内自主防災組織75団体に周知を行ったところ、応募申請9件に対して、令和2年3月30日付けにより、1団体（龍口自主防災会）が採択された。				財源の内訳（単位：千円）		
	事業内容	防災活動に係る発電機他防災資機材の整備			分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	採択件数	1団体			使用料		
	事業費	1,900千円			国費		
結成された自主防災組織に必要な資機材を装備させ、組織の強化拡充を図ることで、地域の共助意識高揚の一環となるほか、減災に資する効果が期待できる。				県費			
				市債			
				その他	1,900		
				一般財源			
				R2予算額	1,900		
				R元 当初予算額			
				R元 現計予算額			
				増減額	1,900		
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)					雑入(自治総合センターコミュニティ助成金) 1,900千円		
従事職員数【人工】					<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 1. 市民と行政の協働のまちづくり (4) コミュニティ活動助成事業		
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績(見込)			単位	人	単位	人	
単位当たりコスト(円)					備考		

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	防災行政無線システム維持管理事業費																														
所管課	危機管理課		(総務部)		宇陀市一般会計予算																												
事業の目的	災害時に電話等の通信網の途絶や、停電等が発生した場合にも通信手段を確保し、市民に対して避難勧告等必要な情報提供体制を整える。				区分 No.	区分名																											
					款	8	消防費																										
					項	1	消防費																										
					目	3	災害対策費																										
事業	3	防災行政無線システム維持管理事業費																															
根拠条例等																																	
総合計画	基本計画 2-4-2 防災・消防体制の確立																																
R2年度事業の概要	災害時の情報伝達手段である宇陀市防災行政無線同報系（中継局2局、再送信局10局、拡性子局183局、個別受信機、文字表表示装置）及び移動系無線の適切な管理、運用及び保守業務を行う。				財源の内訳（単位：千円）																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>予算額</th> <th colspan="2">主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>2,438</td> <td colspan="2">燃料費、光熱水費、修繕料</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>171</td> <td colspan="2">通信運搬費、手数料</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>13,020</td> <td colspan="2">保守点検</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>540</td> <td colspan="2">借地料、電波利用料等</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>374</td> <td colspan="2">防災無線受信機設置工事</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>16,543</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>				科目	予算額	主な内容		需用費	2,438	燃料費、光熱水費、修繕料		役務費	171	通信運搬費、手数料		委託料	13,020	保守点検		使用料及び賃借料	540	借地料、電波利用料等		工事請負費	374	防災無線受信機設置工事		合計	16,543			分担金
科目	予算額	主な内容																															
需用費	2,438	燃料費、光熱水費、修繕料																															
役務費	171	通信運搬費、手数料																															
委託料	13,020	保守点検																															
使用料及び賃借料	540	借地料、電波利用料等																															
工事請負費	374	防災無線受信機設置工事																															
合計	16,543																																
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時の情報収集を迅速かつ的確に行い、市民に対し避難勧告等の必要な情報を発信し、情報不足によるパニック発生を防止する。 ●大地震等発災時における市民への迅速かつ正確な災害情報の伝達を行うための機器の整備・管理。 ●放送が聞き取りにくい地域について調査等を実施し、無線放送局の方向・音量の調整、無線子局の新設、対策を講じていきます。その他、無線子局からの放送内容を伝達する補完手段として整備した「安全・安心メール」配信サービス、「電話応答サービス」に周知に努める。 				使用料																												
					国費																												
					県費																												
					市債																												
					その他																												
					一般財源		16,543																										
					R2予算額		16,543																										
					R元 当初予算額		17,984																										
					R元 現計予算額		17,984																										
					増減額		▲ 1,441																										
事業のコスト			平成30年度(実績)	令和元年度(見込)	特定財源の状況																												
決算額又は決算見込額（千円）			17,512	17,984																													
従事職員数【人工】			0.40	0.40																													
人件費（人工×8,000千円）			3,200	3,200																													
総事業費：人件費含む（千円）			20,712	21,184																													
活動指標名			市民一人当たり																														
活動指標の算式			—																														
活動指標の実績(見込)			30,900	単位 人		備考																											
単位当たりコスト（円）			670	単位 人																													
			701																														
			<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 4.災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (5)防災行政無線システム維持管理事業																														

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	災害時備蓄用品整備事業			
所管課	危機管理課	(総務部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	災害対策基本法の改正により、避難所における生活環境の整備が努力義務とされている。本事業は、避難所で必要となる食料や物品を計画的に備蓄するとともに、避難者へ迅速に備蓄物資が配布できるよう努める。			区分 No.	区分名	
				款	8	消防費
				項	1	消防費
				目	3	災害対策費
事業	4	避難所設備強化事業費				
根拠条例等						
総合計画	基本計画 2-4-2 防災・消防体制の確立					
R2年度事業の概要	備蓄品及び資機材の購入			財源の内訳 (単位：千円)		
	(単位：千円)			分担金		
	科目	予算額	主要内容	使用料		
	需用費	3,043	備蓄品及び資機材購入費	国費		
委託料	370	災害時用毛布クリーニング*	県費			
合計	3,413		市債			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	<ul style="list-style-type: none"> ●備蓄品は、消費期限による入れ替えや避難所開放時にすぐ対応できるよう必要最低限の備品をエマージェンシーボックスに収納している。 ●災害用の備蓄物品は進化が著しく、長期保存が可能な飲料水をはじめ、よりコンパクトで利便性の高い製品などが開発されている。これまでも個々の備蓄品の必要性や保管スペースも考慮しながら、品目・数量の見直しを行い、入れ替えを行っている。引き続き避難所運営に有効な資機材を見極め、かつ、計画的な入れ替えを行い、常に使用可能な状況を確保すること及び必要な物資を必要な場所に効率的に供給する方法を検討していく。 ●学校防災倉庫がない学校や十分な備蓄スペースを確保できない学校が多いため、学校内及び学校周辺に必要最低限の備蓄品を置くことができるよう教育委員会等と調整を図っていく。 			その他	3,000	
				一般財源	413	
				R2予算額	3,413	
				R元 当初予算額	3,427	
				R元 現計予算額	3,427	
				増減額	▲ 14	
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)	2,909	3,427		地域づくり推進基金繰入金 3,000千円		
従事職員数【人工】	0.40	0.40				
人件費 (人工×8,000千円)	3,200	3,200				
総事業費：人件費含む (千円)	6,109	6,627				
活動指標名	指定緊急避難場所数					
活動指標の算式	—					
活動指標の実績(見込)	30	単位	箇所	30	単位	
単位当たりコスト (円)	203,633		220,900			
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 4.災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (6)災害時備蓄用品整備事業					

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	避難行動要支援者対策事業費																																			
所管課	危機管理課 (総務部)		宇陀市一般会計予算																																			
事業の目的	平成25年6月に災害対策基本法改正により、災害時要支援者のうち特に避難支援を必要とする避難行動要支援者名簿の作成が義務付けられた。このことから、本人の同意による登録者名簿を警察、消防、地域関係者等へ提供し、名簿を活用した実効性のある避難支援体制の構築、避難行動計画の作成に向けた支援を行っていく。		区分 No.	区分名																																		
			款	8	消防費																																	
			項	1	消防費																																	
			目	3	災害対策費																																	
事業	5	避難行動要支援者対策事業費																																				
根拠条例等																																						
総合計画	基本計画 2-4-2 防災・消防体制の確立																																					
R2年度事業の概要	市は、災害時における避難行動要支援者の安全を確保するため、以下の支援対策を実施する。 ・避難行動要支援者名簿の更新 ・避難行動要支援者避難支援計画（個別計画）の作成 ・地域における支援体制のネットワークづくり ・災害時における避難行動要支援者への情報伝達体制の確立 ・災害時における避難支援短期入所事業の実施 ・安否確認体制の確立 ・指定避難所における避難行動要支援者相談窓口の設置		財源の内訳 (単位：千円)																																			
	●災害時に必要な支援が受けられる対策を行うとともに、平常時から地域で安心して生活できるよう支援を行う。 ●自治会や自主防災組織、介護サービス事業者等と連携を図りながら避難が困難な方の支援体制の確立を図る。 (単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>予算額</th> <th>主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役務費</td> <td>189</td> <td>避難行動要支援者台帳郵送料</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>462</td> <td>避難行動要支援者システム保守点検等</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>651</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		科目	予算額	主な内容	役務費	189	避難行動要支援者台帳郵送料	委託料	462	避難行動要支援者システム保守点検等	合計	651		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>分担金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>651</td> </tr> <tr> <td>R2予算額</td> <td>651</td> </tr> <tr> <td>R元 当初予算額</td> <td>619</td> </tr> <tr> <td>R元 現計予算額</td> <td>619</td> </tr> <tr> <td>増減額</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table>			分担金		使用料		国費		県費		市債		その他		一般財源	651	R2予算額	651	R元 当初予算額	619	R元 現計予算額	619	増減額
科目	予算額	主な内容																																				
役務費	189	避難行動要支援者台帳郵送料																																				
委託料	462	避難行動要支援者システム保守点検等																																				
合計	651																																					
分担金																																						
使用料																																						
国費																																						
県費																																						
市債																																						
その他																																						
一般財源	651																																					
R2予算額	651																																					
R元 当初予算額	619																																					
R元 現計予算額	619																																					
増減額	32																																					
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)																																						
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況																																		
決算額又は決算見込額 (千円)	401	619																																				
従事職員数【人工】	0.40	0.40																																				
人件費 (人工×8,000千円)	3,200	3,200																																				
総事業費：人件費含む (千円)	3,601	3,819																																				
活動指標名	申請者数																																					
活動指標の算式	—																																					
活動指標の実績(見込)	1,500	単位	人	2,000	単位	人																																
単位当たりコスト (円)	2,401		1,910																																			
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 4.災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (17)避難所行動要支援対策整備事業																																					

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	防火水槽整備事業					
所管課	危機管理課 (総務部)		宇陀市一般会計予算					
事業の目的	地震災害発生時に必要不可欠な耐震性を有した防火水槽の整備拡充を図り、災害に強いまちづくりを推進する。			区分 No.	区分名			
				款	8 消防費			
				項	1 消防費			
				目	5 消防施設費			
事業	1 本庁消防施設費							
根拠条例等								
総合計画	基本計画 2-4-2 防災・消防体制の確立							
R2年度事業の概要	耐震性防火水槽2基（40㎡型）を新設する。			財源の内訳（単位：千円）				
	(単位 千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事請負費</td> <td>18,529</td> </tr> </tbody> </table>			科目名	予算額	工事請負費	18,529	分担金
科目名	予算額							
工事請負費	18,529							
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	消火栓を除く消防水利の空白地を対象に、防火水槽の整備拡充を図ることで、災害に強いまちづくりを推進する。			使用料				
				国費	5,486			
				県費				
				市債	12,900			
				その他				
				一般財源	143			
				R2予算額	18,529			
				R元 当初予算額				
R元 現計予算額								
増減額	18,529							
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額 (千円)				消防防災施設整備費補助金 5,486千円				
従事職員数【人工】				合併特例債 12,900千円				
人件費 (人工×8,000千円)								
総事業費：人件費含む (千円)								
活動指標名								
活動指標の算式								
活動指標の実績(見込)		単位		単位	備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 4.災害に備えた安全・安心な暮らしの実現] (11)消防団活動の充実・支援			
単位当たりコスト (円)								

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	消防施設保全管理事業																	
所管課	危機管理課		(総務部)		宇陀市一般会計予算															
事業の目的	消防力の強化・維持を図るため、消防施設の保全、整備を行う。				区分 No.	区分名														
					款	8	消防費													
					項	1	消防費													
					目	5	消防施設費													
事業	1	本庁消防施設費																		
根拠条例等																				
総合計画	基本計画 2-4-2 防災・消防体制の確立																			
R2年度事業の概要	①防火水槽修繕 3箇所 ②消火栓修繕 4箇所 ③火の見櫓撤去 3箇所 ④消防不要品廃棄処分 ⑤ホース格納ボックス及び消火器ボックスの撤去 2箇所 ⑥防火水槽撤去 1箇所 ⑦消防機庫修繕 3箇所 (単位 千円)				財源の内訳 (単位：千円)															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>予算額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>2,000</td> <td>防火水槽・消火栓等修繕</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>200</td> <td>消防備品廃棄処分料</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>1,671</td> <td>防火水槽撤去等</td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td>77</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,948</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	科目名	予算額	備考	需用費	2,000	防火水槽・消火栓等修繕	役務費	200	消防備品廃棄処分料	工事請負費	1,671	防火水槽撤去等	原材料費	77		合計	3,948		分担金
科目名	予算額	備考																		
需用費	2,000	防火水槽・消火栓等修繕																		
役務費	200	消防備品廃棄処分料																		
工事請負費	1,671	防火水槽撤去等																		
原材料費	77																			
合計	3,948																			
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	消防施設等について、適切な維持修繕を行い、緊急時の災害活動が的確かつ迅速に行えるよう、保全管理に努める。				使用料															
					国費															
					県費															
					市債															
					その他															
					一般財源	3,948														
					R2予算額	3,948														
					R元 当初予算額	3,074														
R元 現計予算額	3,074																			
増減額	874																			
事業のコスト			平成30年度(実績)	令和元年度(見込)	特定財源の状況															
決算額又は決算見込額 (千円)	2,309	3,074																		
従事職員数【人工】	0.20	0.20																		
人件費 (人工×8,000千円)	1,600	1,600																		
総事業費：人件費含む (千円)	3,909	4,674																		
活動指標名	保全箇所																			
活動指標の算式	—																			
活動指標の実績(見込)	17	単位 箇所	12	単位 箇所																
単位当たりコスト (円)	229,941	389,500	備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 4.災害に備えた安全・安心な暮らしの実現] (11)消防団活動の充実・支援																	